

2017年度 法科大学院

第三期入学試験問題

1 時限

憲法

(論文式)

試験時間 60 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[憲法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

学校教育法第34条第1項は、小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書等を使用しなければならない旨を規定し、この規定は、同法第49条で中学校に、同法第62条で高等学校に、そして同法第70条第1項で中等教育学校に準用されている。この教科用図書の検定制度（以下「教科書検定制度」という。）は、「教科用図書検定規則」（文部科学省令）と「義務教育諸学校教科用図書検定基準及び高等学校教科用図書検定基準」（文部科学省告示）に基づいて運用されており、検定では、教育基本法に定められた教育の目的や教育の目標に一致しているか、学校教育法に定める各学校の目的及び教育の目標に一致しているか、学習指導要領に示す目標に従い、同要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げ不必要なものは取り上げていないか、図書の内容が生徒の心身の発達段階に適応しており、また、心身の健康や安全及び健全な情操の育成について必要な配慮を欠いているところはないかなどの基準に基づいた審査が行われる。

設問

上記の教科書検定制度について、憲法上の論点を簡潔に指摘したうえで、各論点について、検討を行いなさい。

（解答は全て解答用紙に記入すること）